

# 第30回 島根大学サイエンスカフェ



山口清次 教授

わが国では、新生児マススクリーニング事業が行われています。この事業は、知らずに放置していると障害が出るような生まれつきの病気を、赤ちゃんのうちに見つけて治療し障害の発生を予防するものです。これまでに1万人以上の小児が障害から免れたといわれています。

最近、より多くの子どもたちを障害から守る画期的な検査法として「タンデムマス法」が開発されました。島根大学では全国のタンデムマス法の研究をリードしてきました。そして、島根県では今春からすべての赤ちゃんに対しタンデムマス法の検査を受けさせています。これは、島根県の全国に先駆けた新しい試みです。

2009年時点(約23万人を検査)

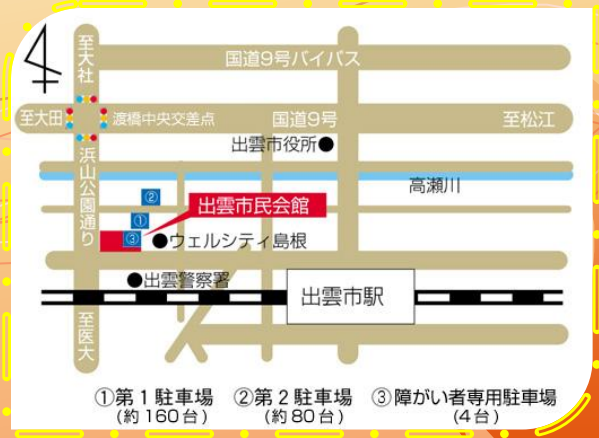
- 全域で実施
- 一部で実施



図1. タンデムマス法によるパイロット研究状況

日時：平成22年7月23日(金)  
15:00~16:30

会場：出雲市民会館  
3階301会議室



講師：山口 清次 教授 (医学部)  
講演テーマ：子どもの病気は「治療よりも『予防』」：  
今春から島根県で始まった障害発生予防事業  
(赤ちゃんスクリーニング)の拡大

参加料：無料  
参加募集人数：30名程度 (事前申し込み必要)



お問い合わせ先  
島根大学サイエンスカフェ世話人 板村 裕之  
島根大学研究協力課 山砥 TEL: 0852-32-9727 FAX: 0852-32-6488  
E-mail: d-chiiki@jn.shimane-u.ac.jp  
お申し込みの際には、氏名・住所・電話番号をお知らせください。